

BCエコネットの実用性確認試験



試験目的

BCエコネットの実用性確認試験

試験作物
及び品種

長芋

試験資材
及び数量(規格)

BCエコネット(角目24cm×11目×180m) 20反

慣行資材

生分解性ネット 菱目21cm×2.7m×180m
菱目21cm×2.7m×210m

栽培方法

播種日

5月15日

【栽植密度】 畝幅：72cm 株間：19～21cm

資材使用期間

6月2日～

試験区面積

約3.5反

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

- ①PEロープだと滑りやすいのだが、従来の生分解性ネットと比較すると展張する際にやや重かった。
- ②ネットに張りが無い(だらんとしている)ため、ロープに通しにくく、ちゃんと通っているかがわかりにくい。

(2)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：強度面ではネットの切れもなく、問題なかった。ポリ性(生分解性)ネットと比較して、引張強度では劣るが、柔軟性があるため小さな傷などがある場合でも切れにくい(メーカー談)。

【問題点】：少し気になる点として、だらんとしている(コシが無い?)せいかやや重く感じる。

モニター感想

ネットの端の縦方向に、ネットの向きがわかるように印(糸の色を変える、紐でも印を付けるなど)を付けてもらいたい。

例年、11月頃に未熟堆肥を掛け、4回/年の切り替えしを行っている。散布時には、ネットはある程度は分解しているがマニュアルスプレッターに少しからむことがあるため、分解速度が速くなると良い。

価格については、産廃費用や人件費なども含めて、ポリネットの2倍程度になれば、使用する人も増えるのではないかと思う。

JA担当者の感想(生産資材課 那須主事)

現地試験状況やモニター感想を聞き取りした結果から、エコネットは生分解性ネットに替わる商品になると思われる。

ただ、コスト低減の取り組み、分解速度の実績の確認、ネットの張りの改善など見直す部分はまだあると思われるので、今後の取り組みに期待する。

今後の使用について

今後も生分解性ネットの使用は継続する。